

市長聴取の場における主な区長発言

※市長の求めに応じ、日常、区業務を預かる行政職の立場からの発言、以下要点。

【概論・災害・まちづくり等】

- ・ 将来像の観点や地政学的視点が重要
- ・ 災害時の対応力維持は当然、加えて向上の観点では、区と消防の連携が重要
- ・ 地域コミュニティの醸成の観点で、地域活動協議会への支援継続が重要

【区数】

- ・ 4区案の規模では、一人の区長では行き届かないか心配だが、区の規模が大きくなっても、地域自治区等の制度を活用して補完できる
- ・ 8区案では区名を決定するのに摩擦が生じる懸念がある
- ・ ニア・イズ・ベターを堅持する方向性なら、8区案の方も親和性がある
- ・ 組織が増えるとコストは跳ね上がり、組織の持続可能性・安定性・確実性の阻害要因となりうるのは一般的経験則
- ・ 持続可能な財政基盤は行政機能堅持のため必須要素であり、資料2のシミュレーション結果は重要

【区割り】

- ・ 下水や水道等のインフラのエリアを基礎に区割りを考えるべきではないか
- ・ 合区・分区の歴史的経緯、道路や鉄道網の接続が考慮されていない区割りがある
- ・ 河川等で区域が分断されると、有事の際の対応に懸念がある
- ・ 4区案、8区案とも、現行の地域アイデンティティを維持できるか懸念もあり得る
- ・ 高齢者は歴史的経緯を重視し、新たな住民や若年齢層はメリットを重視するといった印象

【広域・基礎の事務分担など】

- ・ 地域活動の活性化やまちづくりなど、ニア・イズ・ベターには基礎自治体に一定の権限が必要
- ・ 保健所が広域となれば、基礎自治事務との連携に懸念がある
- ・ これまで高い水準を実現してきた社会施策等の水準維持の視点は重要
- ・ これまでの教育ブロック運用と区担当教育次長への権限移譲の検証が必要